

平成22年6月1日

伊勢市長 鈴木 健一 様

伊勢地区地域審議会
会長 櫻井 治男

当該地域の現状と課題等に対する意見について

平成20年12月11日付け20合第41号で意見を求められました「当該地域の現状と課題について」について、別紙のとおり提案いたします。

提 案 書

伊勢地区地域審議会

はじめに

平成17年11月、旧4市町村が合併し、新伊勢市の誕生をみてから4年が経過しました。その間、世界を見渡すと金融危機による経済不況、各地で続く内紛やテロなどの不安定な社会、大規模地震の発生などの突然現れる自然災害など予断を許さない状況にあります。一方で日本に目を移すと、雇用情勢の悪化、人口減少、少子高齢化の進展など社会経済情勢、国や地方の厳しい財政状況など全国的な環境の悪化があり、大きく変化する社会情勢に対して行政も市民も協力して取り組んでいく必要があります。

審議会の開催経過について

伊勢地区地域審議会では、今回の意見提出にあたって、審議会において、ワークショップ形式で地域の現状と課題を出し合い、整理しました。また、得られた課題に対しては、それぞれの課題ごとに審議会やミーティングにより意見交換を行い、その解決の方策を検討しました。新しい伊勢市が一体となってさらに発展していけるよう、以下のとおり提案します。

提案

〔I〕伊勢市の審議会・委員会のあり方について

地域審議会の役割や検討事項を考慮すると旧市町村単位だけの検討では課題があるのではないかと考え、4地区地域審議会の委員交流会を行った。市の審議会や委員会には、同じような目的や内容とするものがあり、お互いに内容や情報を共有できていない状況にあることから、検討事項や議論の過程の情報共有、審議会・委員会へ女性や若者が積極的に参加しやすい雰囲気づくり、など構成の見直しを市全体で積極的に取り組んでいただきたい。

【課題のテーマ】

- ①地域審議会のあり方
- ②各種審議会・委員会のあり方
- ③男女共同参画のあり方

【課題の内容】

- ①審議会や委員会の役割、検討事項、委員の構成と参加意識
- ②合併課題の現状の把握
- ③旧市町村単位で選出されるあり方
- ④同じような内容、テーマの審議会や委員会があるのではないか
- ⑤審議会や委員会の内容・情報が共有されていない

【解決の方策】

- 住民・民間が中心となって動くこと
 - ・参加意識の向上や主体的かかわりを図っていく必要がある
- 市が中心となり動くこと
 - ・男女共同参画について、女性が参加できるよう、市全体で取り組む必要がある
 - ・審議会や委員会、また勉強できる場など女性や若者が参加しやすい場づくりが必要である
 - ・他の審議会や委員会等との議論のプロセスや情報共有を積極的に行う必要がある
- 協働で動くこと
 - ・審議会や委員会を作る際には、どのような会議を作るのか市民と一緒に考える必要がある

〔Ⅱ〕 市民生活とコミュニティのあり方について

市民生活とコミュニティのあり方について、男女共同参画、異世代間の交流、地域の連携など地域コミュニティが希薄化している。また、下水道の整備状況や伊勢病院の状況、市内道路網の現状や宇治地区周辺の交通渋滞など市民生活へ大きな課題があることから、行政の施策や事業展開、将来計画、市の方向性など全体像と地域の実情との関係がわかるような情報発信など、市と地域との情報共有や連携を密にし、地域コミュニティを豊かにしていくよう取り組んでいただきたい。

【課題のテーマ】

- ①子育てと異世代間交流
- ②地域コミュニティのあり方
- ③環境保全
- ④上下水道の整備
- ⑤伊勢病院と医療体制
- ⑥公共施設のあり方と利用のしかた
- ⑦市域の交通政策

【課題の内容】

- ①男女共同参画

- ②高齢者と子どもの交流
- ③地域コミュニティの希薄化
- ④下水道整備の将来的見通し
- ⑤医師、看護師の不足
- ⑥廃校舎、空き教室の利用
- ⑦公共施設の利活用のあり方
- ⑧道路網の南北分断
- ⑨内宮前の交通渋滞と対策

【解決の方策】

○住民・民間が中心となって動くこと

- ・高齢者と子ども達との連携をコミュニティ内で図る（ラジオ体操や子ども会、イベントでの昔の遊びを伝えるなど）

○市が中心となり動くこと

- ・廃止となった幼稚園や保育所の有効活用
- ・行政の施策や事業展開、将来計画など全体像と地域の実情がわかるよう地域と情報をうまくやり取りできるような情報発信
- ・伊勢病院のあり方を早急に考える。状況や市としての方向性などわかりやすい情報発信、意見聴取が必要
- ・公共施設の利用について、受益者負担から同じ種類の施設は、同じ金額にするなど調整が必要

○協働で動くこと

- ・学校などの空き教室を使って学童保育のようなものがないか。親の安心、高齢者の生き甲斐となるようなしくみ
- ・環境保全、ゴミの分別など考え方の周知、モラルの向上を図る

〔Ⅲ〕伊勢市の経済活性化について

伊勢市の経済活性化について、地元の人々の集客交流と観光面での集客交流が大事である。伊勢市はかつての周辺のまちを含む地元の人同士の交流、また外から訪れる人との交流で賑わっていた。このことが、伊勢市の経済活性化につながることから、いろいろと取り組まれているところではあるが、観光振興と若者の働く場の創出を図っていただきたい。特に伊勢に来たとの実感を持っていただけるよう、伊勢市駅前の活性化と中心市街地の活性化について、早期に実現できるよう取り組んでいただきたい。

【課題のテーマ】

- ①伊勢市駅前の活性化と中心市街地活性化のビジョンの明示
- ②若者の働く場の拡大

【課題の内容】

- ①若者の職業創出
- ②観光振興と集客交流の促進
- ③伊勢市駅前を伊勢に来たという感じとする

【解決の方策】

○協働で動くこと

- ・市民、商工会議所、行政で山田地区の共通のビジョンを描くことが大切である
- ・山田地区におけるハード、ソフト両面での観光や産業振興を図る
- ・市内各地にあるさまざまな観光ポイントの掘り起こしと情報発信
- ・観光客だけでなく地元の人も近所の人も集まるような地元が賑やかになるようなイベントや催しが必要である（外宮前での朝市、楽市など）
- ・全国放送によるテレビ番組での紹介、雑誌での記事の取り上げなどPR

以上について、地域の現状と課題の解決のために取り組まれるよう提案します。

以上

「当該地域の現状と課題等に対する意見について」審議結果のまとめ

意見の柱	課題のテーマ	課題の内容	解決の方策		
			住民・民間が中心となり動くこと	市が中心となり動くこと	協働で動くこと
〔Ⅰ〕 伊勢市の委員会のあり方について	①地域審議会 ②各種審議会・委員会 ③男女共同参画のあり方	(1)審議会の役割、審議会の検討事項、審議会委員の構成と参加意識 (2)合併課題の現状の把握 (3)旧市町村単位で選出されるあり方 (4)同じような内容、テーマの審議会があるのではないか (5)審議会や委員会の内容・情報が共有されていない		・男女共同参画について、女性が参加できるよう、市全体で取り組む必要がある ・審議会や勉強できる場など女性が参加しやすい場づくりが必要 ・他の審議会や委員会等との議論のプロセスや情報共有を積極的にしてもらいたい	・審議会や委員会を作る際には、どのような会議を作るのか一緒に考える必要があるのでは
〔Ⅱ〕 市民生活とコミュニティのあり方について	①子育てと異世代間交流 ②地域コミュニティのあり方 ③環境保全 ④上下水道の整備 ⑤伊勢病院と医療体制 ⑥公共施設のあり方と利用のあり方 ⑦市域の交通政策	(1)男女共同参画 (2)高齢者とこどもの交流 (3)地域コミュニティの希薄化 (4)上下水道の整備 (5)医師、看護師の不足 (6)廃校舎、空き教室の利用 (7)公共施設の利活用のあり方 (8)道路網の南北分断 (9)内宮前の交通渋滞と対策	・ラジオ体操や子ども会、イベントでの昔の遊びを伝えるなど高齢者と子ども達との連携	・廃止となった幼稚園や保育所の有効活用 ・行政の施策や事業展開、将来計画など全体像と地域の実情がわかるよう地域と情報をうまくやり取りできるような情報発信 ・伊勢病院のあり方を早急に考える。状況や市としての方向性などわかりやすい情報発信、意見聴取が必要 ・公共施設の利用について、受益者負担から同じ種類の施設は同じ金額にするなど調整が必要	・学校などの空き部屋を使って学堂保育のようなものがないか。親の安心、高齢者の生き甲斐となるようなしくみ ・環境保全、ごみの分別など考え方、モラルを広げていく
〔Ⅲ〕 伊勢市の経済活性化について	①伊勢市駅前の活性化と中心市街地の活性化 ②集客交流のあり方	(1)若者の職業創出 (2)観光振興 (3)伊勢市駅前に伊勢に来たという感じがしない			・外宮前の朝市が賑わっていることから、何かイベントや催しが必要 ・観光客だけでなく地元の人も近所の人も集まるような朝市が賑やかになるような朝市の開催 ・全国放送によるテレビ番組での紹介、雑誌での記事の取り上げなどPR

伊勢地区地域審議会開催状況

○審議会

	日時	内容
平成20年度 第1回	平成20年7月16日(水) 午後3時30分から	1 辞令交付 2 地域審議会の役割、会議、今後の開催日程等について 3 正副会長の選出
平成20年度 第2回	平成21年1月27日(火) 午後7時から	1 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についての協議
平成20年度 第3回	平成21年3月27日(金) 午後7時から	1 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についての意見交換 2 他地区地域審議会との交流について
平成21年度 第1回	平成21年6月4日(木) 午前10時から	1 正副会長会議の報告 2 ごみ収集方法等に関する基本方針(素案)について
平成21年度 第2回	平成21年8月7日(金) 午前10時から	1 ごみ収集方法等に関する基本方針(素案)について 2 地域コミュニティなどに関する伊勢市の現状と取り組み報告及び意見交換
平成21年度 第3回	平成22年3月16日(火) 午後7時から	1 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についてのまとめ
平成22年度 第1回	平成22年6月1日(火) 午後7時から	1 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についてのまとめ

○ミーティング

	日時	内容
第1回	平成21年5月12日(火) 午後7時から	1 正副会長会議の報告 2 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についての意見交換
第2回	平成21年7月3日(金) 午後7時から	1 ごみ収集方法等に関する基本方針(素案)について 2 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についての意見交換
第3回	平成21年8月4日(火) 午後7時から	1 ごみ収集方法等に関する基本方針(素案)について 2 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についての意見交換
第4回	平成21年9月8日(火) 午後7時から	1 ごみ収集方法等に関する基本方針(素案)に関する報告 2 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についての意見交換
第5回	平成21年10月6日(火) 午後7時から	1 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についての意見交換
第6回	平成21年12月8日(火) 午後7時から	1 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についての意見交換
第7回	平成22年1月26日(火) 午後7時から	1 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についての意見交換
第8回	平成22年2月23日(火) 午後7時から	1 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についてのまとめ
第9回	平成22年5月11日(火) 午後7時から	1 当該地域の現状と課題及びその具体的解決案についてのまとめ